

流域図 A=1:400

記載例

注意点

- ・開発により影響する、道路の排水施設の接続部から雨水幹線・河川等の流末までの排水能力をチェックする。(宅地内の排水施設は不要)
- ・流域は、排水施設に流れ得る区域を、現地踏査や地形図等から決定する。(開発事業区域外も含む)
- ・流量計算箇所での排水施設箇所を図示し、形状・勾配などを記載する
- ・排水施設が広域にわたる場合は、必要に応じて、現地写真、水路断面図等を添付する

凡例

- 開発事業区域
- 流域
- 流域内の流下方向
- 道路側溝等の流下方向

